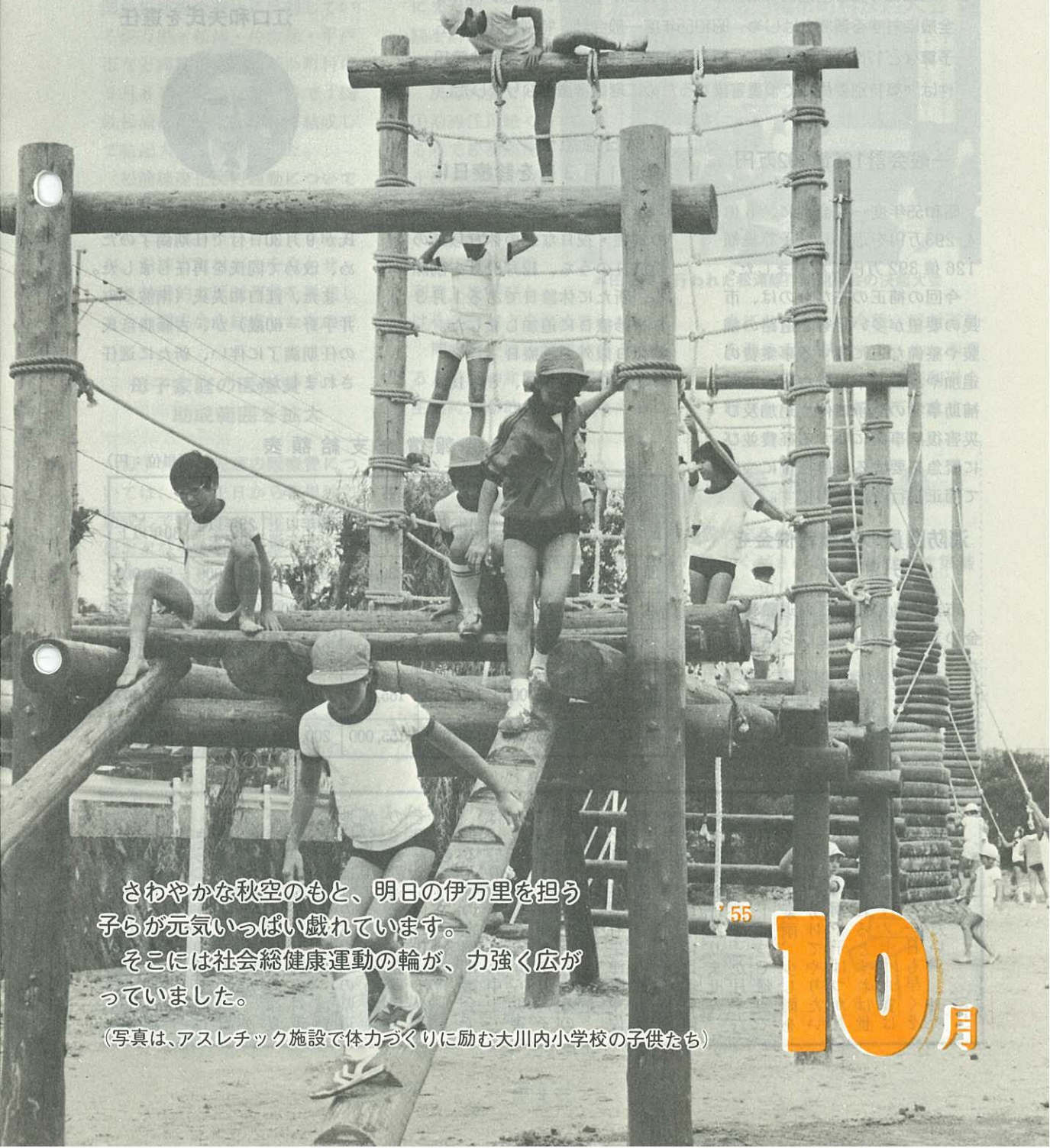


# 広報 いまり

昭和29年8月19日 第3種郵便物認可 毎月1日発行 定価1部24円 昭和55年10月1日 伊万里市役所総務部秘書課発行 No. 320



さわやかな秋空のもと、明日の伊万里を担う  
子らが元気いっぱい戯れています。

そこには社会総健康運動の輪が、力強く広が  
っていました。

(写真は、アスレチック施設で体力づくりに励む大川内小学校の子供たち)

55

10月

# 休暇センター建設道路など6億4,293万円を補正

## 第3回 定例市議会

昭和55年第3回定例市議会は、9月10日から25日まで開かれ市政全般に対する質問をはじめ、昭和55年度一般会計、特別会計の補正予算など17件を審議可決し、昭和54年度一般会計、特別会計決算10件は決算特別委員会で慎重審議するために継続審議となりました。

### 市教育委員に 江口和夫氏を選任



市教育委員会委員の千葉健史氏が9月30日付で任期満了のため、改めて同氏を再任しました。

また、江口和夫氏（南波多町井手野=60歳）が、古藤勝彦氏の任期満了に伴い、新たに選任されました。

### 一般会計126億392万円

昭和55年度一般会計に、6億4,293万円を追加し、予算総額126億392万円になりました。

今回の補正の主なものは、市民の要望が多い足もと道路の舗装や整備などに要する事業費の追加や、公共下水道などの国県補助事業の認承に伴う追加及び災害復旧事業に要する経費並びに緊急を要する一般経費について補正を行ったものです。

### 消防団員の退職報償金を 引き上げ

市非常動消防団員の退職報償金の支給額が引き上げられました。（別表）

この改正は、4月1日以後に退職された団員の方に適用されます。

### 休日急患センター 1月3日を診療日に

伊万里休日急患医療センターの日曜・祝日などの休日以外の診療日のうち、12月31日を削除し、新たに休診日である1月3日を診療日に追加しました。

- 休日以外の診療日  
1月2日・3日、8月15日

### ◎ 退職報償金支給額表

（単位：円）

階 級	勤 務 年 数					
	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
団 長	80,000	165,000	230,000	320,000	430,000	550,000
副 団 長	65,000	145,000	200,000	275,000	380,000	500,000
分団長及び 副分団長	60,000	130,000	175,000	240,000	330,000	450,000
部 長 及 び 班 長	55,000	120,000	165,000	220,000	300,000	410,000
団 員	45,000	110,000	155,000	200,000	275,000	380,000

の応急対策、根本的な恒久復旧対策に全力をあげて取り組んでいます。

さらに農作物の被害には共済や税の問題、天災融資や激甚地指定の如何が、かかっており、商店街の冷夏長雨による売上不振の対策などその影響は広く、滝野地区では竹の古場への県道がくずれてバスが通わないので通勤通学の道路確保とその安全をいかにするかなどが起こっています。

去る九月の定例市議会では一般質問で十八人中十二人の市議員さんから災害に関連する質問があり、それぞれ地区でいろいろの問題が提起されています。

それにしても牛津町や佐賀、鹿島両市などの被害はさらに大きく、今年の特別交付税は佐賀県に比重を傾けて貰わねばなりません。

ブラジルでは三か月、六か月という干ばつで帰って見ると集中豪雨、少し雨をブラジルに分けてやりたいぐらいで、雨や干ばつが互いに調節されるとすれば世界の福音で、ノーベル賞は間違いなく、一日も早くその発明を望みたい。

（竹）

# 国鉄、松浦線の存続を

## 沿線4市15か町村で存続期成会を結成

地域住民の生活を脅かすと、国鉄松浦線の廃止に反対している伊万里・松浦・佐世保・平戸市など同線沿線4市15か町村は9月8日に長崎県田平町で「国鉄松浦線存続期成会」を結成して結起大会を開きました。

松浦線廃止反対運動については、これまでも関係各市町村がそれぞれ独自に行ってききましたが、沿線市町村が力を合わせ、より効果的な反対運動を推進しようとする期成会を結成したもので

佐賀・長崎両県にまたがって存続を訴えたのは初めてです。

決起大会では①沿線住民総ぐるみで松浦線廃止反対運動に取り組む、②反対するだけでなく住民に「松浦線利用」を呼びか

ける。—などを決めました。

期成会では、同線が廃止されると沿線の産業や経済など住民生活に致命的な打撃を与えるこ



▲田平町で行われた松浦線存続期成会の決起大会

とになるため、今後、反対運動を進める一方、ステッカーや看板などで、住民に松浦線利用を呼びかけることにしています。

### 母子家庭の医療費 助成範囲を拡大

母子家庭の児童の医療費については、6月1日から市単独で助成していますが、母子家庭の母およびその者に監護されている児童、または父母のない児童にも医療費の助成ができる補助制度が制定されることになり、母子家庭の母などにも助成することになりました。

これは10月1日以降の診療に係る医療費から適用されます。

## 市内施設めぐり参加者募集

昭和55年度第2回目の「市内施設めぐり」を行います。

参加希望の方は会費を添えて申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。(申込受付 10月11日～25日)

▲日時と集合場所 11月12日(水) 8時30分市民会館集合

▲募集人員と会費 150人 会費1,500円

▲視察施設 大川内山・市役所・伊万里工業団地・龍門ダム  
国見トンネル・名村造船所など

▲申込み先 市役所総務部秘書課(☎③2111 内線408)

市の災害対策本部も時を移さず出動し、国や県の出先機関や警察、消防の方々また区長さん始め地元の方々の協力で人命の損傷を免かれたことは何よりの幸で、いま国も県も市もそ

ろもあります。  
中心市街地やその周辺はなんとか伊万里川の拡幅や有田川の改修などで、四十二災のような大被害は免かれ、また西分のような水ぬきの施設事業をしたところは地すべり現象も起きずに済みましたが、まだ未改修の松浦川やその支流、ボーリングのしていない地すべり地帯や土砂のカットの完全にはすまないボタ山などが崩壊し数日間避難されたところもありません。

いままででないような記録的な冷夏、長雨に加えて集中豪雨で家や田畑やまた商売の上に被害を受けられ影響を蒙られた市民の皆さんに衷心よりお見舞い申し上げます。



# 「みどりの少年団」が結成

## 郷土の美しい自然を守ろう



市内で初めて結成された大川内山緑の少年団

市内で初めての「みどりの少年団」が結成されました。

この少年団は、美しい緑の自然保護を通して少年の健全育成を目指すもので、大川内地区の小中学生男女38人で結成されています。

みどりの少年団員は赤色のユニホームに紺色のチロルハット、緑色のスカーフとリュックサック姿で結団式を8月26日、大川

内山キャンプ場で行いました。団長の宮崎繁人君(伊万里中3年)が「郷土の美しい自然を私たちの手で守ります」と力強く宣誓し、早速、キャンプ場内のゴミなどを拾い集めるなど、自然保護に努めました。

今後は、植物観察や樹木の名札つけ、巣箱づくり、清掃奉仕などを続けていくとのことです。

### 市の人口

9月1日現在

総人口 61,211人 (+31)  
 男 29,067人 (+21)  
 女 32,144人 (+10)  
 世帯数 16,398世帯(-4)  
 市民課調べ( )は前月比

### 10月の市民会館行事予定

- 毎週金曜日 免許更新時講習
- 9日(木) 17時~22時 花園大学文化開発講演会
- 9日(木) 13時~17時 桂 須磨子ショー
- 12日(日) 13時~16時 愛LOVEいまり市民のつどい (記念講演) 萩原茂裕(日本コンサルタント) 上原春男(佐賀大学助教授)
- 21~23日 18時~20時30分 点字講習会(佐賀点字図書館)
- 23日(木) 9時~17時 青色申告30周年記念大会

### 地区別飲酒運転検挙者数

(昭55.8.31現在 伊万里警察署調)

地区	1月~7月	8月	累計
伊万里	5	1	6
大坪	4	0	4
牧島	7	1	8
立花	5	2	7
大川内	6	0	6
黒川	8	0	8
波多津	2	0	2
南波多	3	0	3
大川	2	0	2
松浦	3	1	4
二里	7	0	7
東山代	5	0	5
山代	9	0	9
(市外)	17	2	19
計	83人	7人	90人

## 團 伊玖磨 指揮で九響演奏会

前売券発売中 11月8日 市民会館で

交響詩伊万里の1周年を記念して、團伊玖磨氏の指揮により九州交響楽団演奏会を催します。  
☆日時 11月8日(土)

午後6時30分

☆場所 伊万里市民会館

☆演奏曲目 交響曲第9番「新世界より」・ペールギュント組曲・交響詩伊万里など

☆入場料 2,500円(当日3,000円)

☆前売券発売所 しのはら楽器店・中央楽器伊万里店・伊万里玉屋・ユニード伊万里店・

文化堂・市観光協会(駅前)  
☆主催 交響詩伊万里の会  
☆問い合わせ 交響詩伊万里の会事務局(前田病院内、窓3-5101)



## い ま り 秋 祭 り

10月17日(金)

18日(土)

19日(日)

## 盛り上げよう市民の祭り

昨年、市民の祭りとして装いも新たになった「いまり秋祭り」が今年は10月17日、18日、19日の3日間行われます。

昨年はNHKテレビでトンテントンの合戦風景が放映されるなど、日本3大けんか祭りのひとつとして全国に知られるようになりました。

今年もトンテントン合戦を中心に、昨年好評だった「子供創作みこし」や「郷土芸能」、さ

らに市民総参加による「いまり総踊り」など、盛りだくさんの催しが行われますので、市民の皆さんのご参加をお願いします。



8月

貿易実績は14億6,356万円  
で前月比20億5,114万円の減。

【輸出】実績なし

【輸入】14億6,356万円

【船舶の入港】17隻

(日本船3、外国船14)

【寄港上陸許可者数】

343人(韓国67人、インドネシア108人、中国65、英国5人、フィリピン98人)

日	日 時	内 容
10月17日	20.00～20.30	・トンテントン合戦(安葬)
10月18日	14.00～16.00	・音楽パレード 主催者・コンパニオンパレード 吹奏楽隊・パトガール、鼓笛隊 ・こどもみこし「みこしだワッショイ」 創作みこし、飾りトンテントン、子供トンテントン
	11.00～17.00	・トンテントン合戦
10月19日	13.30～16.00	・いまり総おどり「伊万里小唄」「伊万里行進曲」
	15.00～16.00	・郷土芸能(浮立)
	12.00～18.00	・トンテントン合戦(川落し)

### 合同相談所を開設 法律・人権・行政

市民の皆さんの悩みや苦情などについて、専門の係員が相談に応じ解決をはかる合同相談所を次のとおり開設します。お気軽においでください。

- ▲期 日 10月16日(木)
- ▲時 間 10時～15時
- ▲場 所 市役所4階大会議室
- ▲内 容 法律・人権・行政・その他一般

〔相談担当〕 佐賀行政監察局 佐賀地方法務局伊万里支局、行政相談委員(岩本判三氏、井手敏男氏)、人権擁護委員(菊地俊夫氏)、弁護士、市民相談室

### 「愛LOVEいまり」市民のつどいを開催

10月12日

市民会館で

より良く伊万里を愛する心の運動——「愛LOVEいまり」が展開されています。

この運動を一層盛り上げるため、みんなで創ろう明日の伊万里をテーマに「市民のつどい」を催します。

☆日時 10月12日(日)  
13時～(入場無料)

☆場所 伊万里市民会館

☆記念講演

「手づくりのふるさと」

・萩原茂裕氏(日本コンサル  
タント・グループ理事)

みんなで創ろう 明日の伊万里…



「代替エネルギー-海洋温度差発電」

・上原春男氏(佐賀大学助教授)

☆主催 愛LOVEいまり市民  
連絡会議

☆後援 伊万里市

# あなたと考える

# 米を見

そろそろ新米の出回る季節となりました。

日本人の主食——米の消費量は、昭和37年の年間1人当たり 118.3キログラムをピークに、以後、年々減少の一途をたどっています。

米の消費拡大は、国民の食生活に係る問題です。

みなさんと「米」について改めて考えてみましょう。



## 見直される米

▲学校の米飯給食(波多川小で)

政府の古米持越しは昨年の10月末で650万トンに達しました。そして、米の年間1人当たりの消費量は、53年度で81.6キログラムと、前年に比べ1.8キロ、10年前に比べると18.6キロも減少しています。

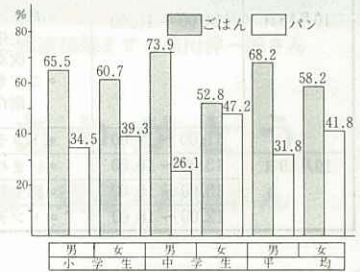
しかし、米は自給力100%のうえ、栄養化は高く、わたしたち日本人の主食としては、これ以上のものではありません。

今日、「見直される米」として米の消費拡大が叫ばれ、米飯学校給食の計画的拡充、米新加工品の開発、米の品質向上など各種の対策が講じられています。

また、米食を中心とした食生活は経済的で良質のタンパク源といわれ、理想的な栄養バランスが改めて考え直されています。

米消費拡大は、国民の食生活に係る問題であり、正しい認識と理解のうえに立った協力を得て、総力をあげて取り組む必要があるのではないのでしょうか。

● ごはんとパンはどちらが好きか



伊万里市教育委員会調査(S.55.7)

## 米飯給食「週2回以上に」

### アンケートで7割が希望

市教育委員会は学校の米飯給食について、このほど市内の児童・生徒8,352人にアンケート調査を行いました。

この結果をみると『ごはんとパンのどちらが好きか』の問いに、全体の約63%が『ごはん』が好きだと回答しています。

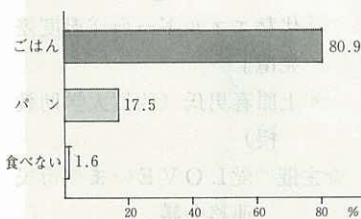
これを学年別に分けると、小学校高学年が圧倒的にごはんが好きだと答え、低学年と中学生は『パン』に人気があり、とく

に女子はパンが好きだというのが約半分を占めています。

現行の米飯給食は週1回行われていますが、これについては「週2回以上」との答えが全体の7割以上あり、子供たちはごはんの回数が増えることを希望しています。

教育委員会では、このアンケートの結果を受けて、来年4月から週2回の米飯給食を実施する方向で検討を進めています。

● 子供たちの朝食



伊万里市教育委員会調査(S.55.7)

# つ め る

キャンペーン  
シリーズNo.25

## 健康な食生活を

日本人にとってお米とは？ この素朴な質問は、食糧の将来について不安が世界的に高まっている今、「見直される米」として改めて大きな意味を持ってきました。

自給率 100%の大切なカロリー源であると同時にタンパク源として米は、わたしたちの食生活を支え続けています。「見直される米」について改めて考えてみましょう。

### 食糧・農業を守るために

山代町楠久 農業 浦山義光さん



現在の経済の低成長と不況の長期化、先行き不安の中で、農業は過保護だ、食料品価格が高すぎるといった批判が強まり、食管理制度の改正や輸入の増加を求める声が高くなっています。

このような農業外部からの批判は長期的に国民食糧を安定的に確保するという大切な視点を欠いたものであり、わが国の穀物自給度の低さや、将来の不安に目をつぶったものです。

しかし、私達もこのような批判や意見に反対するだけでは、



問題の解決にはなりません。私達の考えや立場について理解を求めるとともに、生産者側も消費者の嗜好にあった良質米の生産に心がけ、米を食べる運動をおすすめるなどの努力が、何よりも必要であると思います。

### お米を上手に食べよう

大坪町白野 主婦 中里美智子さん



わたしたちの祖先は、長い間かかって、お米を中心とする独自の食文化をきづきあげました。今日では、日本の食事の栄養バランスのよさは、欧米先進諸国からも注目され、成人病になりにくい食物構成として手本にされているぐらいです。

お米は効率的なカロリー源であると同時に良質なたんぱく資源であり、しかも、いろいろな



精米100gあたり



255  
カロリー

科学技術庁三訂補成分表(昭和53年)より

食べ方ができ、和、洋、中華どんなメニューにもよくあいます。

世界的に食糧資源の将来が心配されている今日、お米は量的にも質的にも、わたしたちを支えてくれる頼もしい主食です。お米を中心とする食生活のよさをもう一度みなおして、健康づくりに生かし、さらに次の世代へ伝えていきたいものと考えています。

# ありがとう あなたの善意

## 心あたたまる町の話

～その21～

### 10kmの山路を通い柔道指導

大久保駐在所前川巡査 滝野地区の子供に

市街地から16km離れた山間部にある滝野地区の子供たちに柔道を教え、地区民からたいへん喜ばれ、感謝されているおまわりさんがおられます。

この方は、東山代町の久保警察官駐在所に勤務している前川伸一郎さん(26歳)で、1年半前から子供たちの健全育成にいくらかでもお役に立てばと、毎週月・土曜日の2回、10kmの山路を通い滝野地区の子供たち40名に川内野公民館で柔道の指導にあたっているものです。

前川さんは「地域の中にとけ込んでいきたいと始めました。柔道を通して子供たちに礼儀作法とスポーツ精神をおしえていきます」と話しておられ、前川

さんの手助けをしている同地区の大野茂樹さん(44歳)は「指導者がいなくて困ってました。前川さんの協力に地区民は感謝しています」と語っていました。



▲子供たちに柔道指導をする前川伸一郎さん

### おじちゃんありがとう

幼児を救助した高森・須藤・原田さん

海に落ちておぼれかけた幼い女の子が、3人の方の機敏な救助リレーで助かり、人命救助で感謝されています。

この方たちは波多津町浦の高森秀雄さん(52歳=ガソリンスタンド経営)須藤治俊さん(33歳=商業)と同町内野に住む原田弘司さん(50歳=農業)の3人で9月9日の夕方、高森さん

らが家の建築現場にいたところ岸壁で遊んでいた近くに住む久保瑠利ちゃん(3歳)があやまって海に落ちたとの声を聞きつけました。高森さんらはすぐ対岸まで駆けつけ、海に飛び込んで、原田さんが岸まで引き寄せ高森さんが水から揚げました。

そして、須藤さんが、消防団の救助訓練で習った人工呼吸をしばらく続けるとぐったりしていた瑠利ちゃんが息を吹き返し、一命をとりとめました。

水におぼれた場合、最初の1、2分が最も大切で、瑠利ちゃんも、あと1分遅かったら危険だったかもしれず、3人の機敏な処置が高く評価されています。



▲幼児を助けた左から原田・高森・須藤さん





▲交通安全パレード (9/22)  
伊万里中バトンガール、ブラスバンド、市職員など約 400 人が参加して市内目抜き通りを交通安全パレードしました。



▲ドライバーに梨や冷茶の接待 (9/21)  
南波多町交通安全母の会はドライバーに特産の梨や冷茶をサービスし安全運転を呼びかけました。



▲最高齢者を慰問 (9/14)  
竹内市長は市内最高齢者の武藤藤四郎さん (96歳) 山口チエさん (96歳) を慰問しました。

いま伊万里で



▲市内各地で運動会 (大川内町9/7)  
さわやかな秋空のもと各地で楽しい運動会が催されました。



▲楽しいダンス学級 (9/16)  
大川町農村婦人の家ではお年寄りの方もまじえ婦人ダンス学級が開かれています。

▶コーラスで全国青年祭に出場(9/18)  
松浦町青年団コーラスが県大会で優勝し全国青年大会に出場することになりました。



## 精神薄弱教育研究大会が開かれます

九州地区精神薄弱教育研究大会が市内5小中学校と伊万里養護学校、市民会館で行われます。

### ▲期日と会場

- 11月6日 公開授業・分科会 (伊万里小・中学校、大坪小学校、松浦小・中学校)
- 11月7日 講演・全体会 (伊万里市民会館)

演題：障害児教育とその周辺

講師：田村一二氏

——田村先生は47年間、精神薄弱者教育に従事してこられ、近代精神薄弱教育施設の基礎を築かれました。また、これらの体験にもとづく著書も多く、映画化されているものもあります。多数のご来場をお待ちします。

## 伊万里商業高校

### 創立80周年記念行事

佐賀県立伊万里商業高等学校は明治33年に創立以来、今年80周年を迎え、記念式典と講演会を次のとおり行います。

- 記念文化祭 11月1日・2日
- 物故者慰霊祭 11月3日
- 記念式典 11月3日、10時
- 記念講演 11月3日、11時  
講師・北古賀勝幸氏(熊本商科大学学長・昭和17年伊商卒)

### ◇伝産会館スタンプをどうぞ◇

大川内山の焼き物の里に開館した「伊万里・有田焼伝統産業会館」を訪れる観光客の方に利用していただこうと、観光スタンプ(写真)ができました。

みなさんご利用ください。



## 市民創作童話の作品募集

ぼっちの会では「市民創作童話」の作品を募集しています。

☆応募作品 400字詰原稿用紙5枚以内(題材自由)

☆応募締切 10月31日まで

☆応募先 佐賀新聞社伊万里支局内ぼっちの会(立花町通谷)

## 芸術の秋です

### 第1回市民展へのお誘い

市教育委員会は初めての市民展を開催します。

これは、広く一般から創作意欲にあふれる作品を公募し、美術文化の向上と発展をめざすものです。

市民多数の皆さんの観賞をお待ちしています。(入場無料)

▲会期 10月9日～12日

▲会場 市中央公民館

▲展示内容 日本画、洋画、版画、書

## 老人健康診査を受けましょう

満65歳以上(大正4年10月31日以前生まれ)の方を対象に老人健康診査を行います。

指定された期日と時間に、お近くの病院で健康診査を受けてください。

町名	医療機関名	期日	時間	町名	医療機関名	期日	時間	
伊万里	一番ヶ瀬耳鼻咽喉科	10/8・9	13.30～16.00	堀田	堀田病院	10/8・9	10.00～12.00	
	今里医院	"	14.00～16.00		前田病院	"	13.30～16.00	
	岡村医院	"	13.00～15.00		光武医院	"	9.00～12.00	
	加茂医院	"	9.00～17.00		山口皮膚科	"	9.00～12.00	
	加茂皮膚科	"	14.00～15.00		夏秋医院	10/9のみ	13.00～14.30	
	木本医院	"	14.00～16.00		山口病院	"	14.00～16.00	
	口石病院	"	14.00～16.00		隅田病院	"	8.30～17.30	
	小島眼科	"	14.00～17.00		黒川	小島病院	10/7・8	13.30～15.00
	鈴山医院	"	14.00～16.00			小島医院	10/8	9.00～12.00
	原皮膚科	"	15.00～16.30			被多津波多	小島医院	10/8・9
						助広医院	"	14.00～15.00
大川	山口医院	10/8・9	9.00～12.00	東山代	市民病院	"	14.00受付のみ	
	平山医院	10/8	13.00～14.00		山元病院	"	14.00～16.00	
	松浦	近藤医院	10/8・9		10.00～12.00	立石医院	"	10.00～11.00
		福岡医院	"		10.00～12.00	滝野診療所	10/7	10.00～11.00
		日浦医院	"		14.00～16.00	内山産婦人科	10/8・9	13.00～15.00
	二里	毛利病院	"		10.00～12.00	黒木医院	"	10.00～12.00
		井手小児科医院	"		13.30～14.30	社会保険浦の崎病院	"	10.00～12.00
		山元病院	"		14.00受付のみ	向山診療所	"	10.00～12.00
						西田病院	10/16・17	14.00～16.00
						水上医院	10/7・8	11.00～12.00
						博仁会医院	10/8・9	10.00～12.00
				樋口医院	"	10.00～12.00		

# 消防スケッチ大会を開きます

10月10日 体育の日

市防火協会は消防本部グラ  
ンドで、小学生を対象とした、は  
しご消防車、救急車、消防ロボ  
ット、消防庁舎などのスケッチ  
大会を行います。多数ご参加く  
ださい。

- ▲日時 10月10日 9時から
- ▲場所 消防本部グラウンド
- ▲対象 市内の小学生
- ※画用紙は協会で準備します。
- 入賞者には賞状・賞品、参加者  
には参加賞が贈られます。



## 危険物取扱者試験の案内

- ▲種類 甲・乙・丙種試験
- ▲期日 11月16日
- ▲受付 10月8日～14日
- ※願書は市消防本部と東分署、  
西分署に用意してあります。

## 展示資料を探しています

### 「伊万里の町家展」

市歴史民俗資料館は11月に、  
「伊万里の町家展」を開きます  
が、その際の展示物として、昔  
の伊万里を知る手がかりとなる  
もの、絵地図や町並み、写真、  
文書、家具、商売用具など江戸  
時代から明治時代頃までの資料  
を探しています。

これらの資料をお持ちの方は  
資料館(☎②7105、内線49)へ  
ご連絡ください。市民の皆さん  
のご協力をお願いします。

次の方からご寄付をいただきました。  
厚くお礼申し上げます。  
社会福祉事業費へ (敬称略)

### ◆香典返しを寄付

- 川原俊雄(亡母シヲ 東山代町里)
- 泉 滋(亡祖母テツ 立町)
- 高田チヨ子(亡叔母トミ 山代町浦之崎)
- 山口忠七(亡父伊蔵 蓮池町)
- 幸松 弘(亡父儀八 東山代町川内野)
- 松永友廣・弘(亡母タツ 新天町)
- 平尾節子(亡夫勝 大坪町六仙寺)
- 前田秀雄(亡父安一 今町)
- 山口純子(亡夫皓平 二里町八谷嶺)
- 市川忠良(亡父卯内 大川内町大川内山)
- 村田静代(亡夫謙四郎 東山代町長浜)
- 久保田亀太郎(亡母マツ 松島町)

## ありがとう



いんげんまいた

- 林田英夫(亡母キノ 松島町)
- 前田義男(亡母コメ 新天町)
- 生嶋弥七(亡母トメ 黒川町立目)
- 松本富三代之一(亡母キヨ 山代町久原)
- 大野敏雄(亡祖父安太郎 松浦町中通)
- 前田重夫(亡妻ミツエ 二里町内の馬場)
- 川原志徳(亡母タキ 大坪町白野)
- 江頭 武(亡母チエ 大坪町下古賀)
- 宮副 晃(亡母サツキ 松浦町東分)
- 本山邦彦(亡父信市 大坪町柳井町)
- 原 敏夫(亡母ミワ 松浦町宿分)
- 鈴木行雄(亡長男省吾 山代町楠久津)
- 姉川キサ(亡夫次郎一 大川町立川)
- 木下新四郎(亡母カツ 松浦町下分)
- 川久保九州男(亡母トイ 山代町浦之崎)
- 池田元久(亡妻光代 大川町川原)

### ◆篤志寄付

- 五千円 牧野敏昭(東京都)
- 参万円 松村金弥(東山代町里 見返し)
- 一、一九〇円 深見順治(大分県宇佐市)
- 教育振興奨励基金へ

### ◆香典返しを寄付

- 村田静代(亡夫謙四郎 東山代町長浜)
- 江利トヨ子(亡夫禎起 立花台二丁目)
- 鈴木 登(亡長女郁子 脇田町 伊小へ)
- ◆篤志寄付
- 二、七九五円 早稲田勝昭(立花台三丁目)
- 二万円 出雲英昭(東山代町川内野 次男の全快祝いとして 滝野中へ)
- 交通遺児救済資金へ
- 三万円 伊万里管工事組合青年部
- 広報活動用機材充実に
- テーパーレコーダー・カメラ各一台 木須正剛(秋田県大潟村・五万円相当) 前田和昭(同・五万円相当) 松本純三(静岡県御殿場市・五万円相当)
- 体育振興奨励基金へ
- ◆香典返しを寄付
- 松永友廣・弘(亡母タツ 新天町)
- ◆篤志寄付
- 老万円 中島紘一(新天町六五四)
- 明るい町づくり推進資金へ
- (牧島公民館建設資金)
- 田中熊夫(亡父安夫 木須西)
- (大坪公民館)
- 平尾節子(亡夫勝 大坪町六仙寺)
- (大川内公民館)
- 橋口一(亡母ヒチ 大川内町岩谷)
- (南波多公民館)
- 橋口政美(亡母スガ 南波多町府沼下)
- 井手晴博(亡祖母トメ 南波多町原屋敷)
- 市立図書館へ図書寄贈
- 溝上恵子(立花町西門)・牧瀬徳之(木須東)
- 久保田正敏(脇田町)・久保田有浩(脇田町)・野中ヤス子(脇田町)・前田淑子(二里町内の馬場)・谷川日出夫(脇田町)・前川 保(東山代町東久保)・井上和江(上松島)

# こどものページ

## 市統計グラフコンクール

### 井手さん(南波多小1年)県でも特選に

市統計グラフコンクールの審査会が9月5日、市役所で行われました。

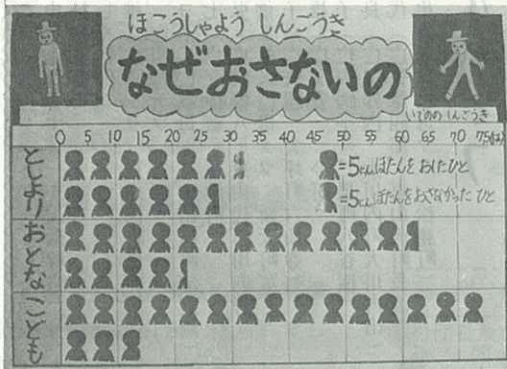
今年は340点(363人)の作品が集まり、昨年より約100点も増え、この中から特選4点、準特選12点、入選29点のほか努力賞11点が選ばれました。

また市のコンクールで特選となり、県のコンクールに出品さ

れていた、南波多小1年の井手道子さんの作品が県でもみごと特選となり、全国コンクールに出品されることになりました。

皆さんの努力で、年々立派な作品がたくさん集まっています。

では、市のコンクールで特選、準特選に選ばれた人と、優良賞を受賞した学校をお知らせします。



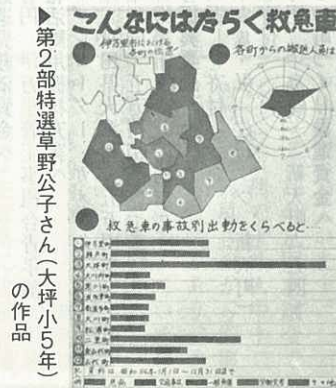
▲市・県のコンクールで特選となった井手さんの作品

#### 【第1部】 小学校1～3年

- ◎特選 井手道子さん(南波多小1年)
- ・準特選 塚部裕二君(伊万里小3年)
- ・〃 大久保和美さん(大川内小3年)
- ・〃 多田知生君(黒川小2年)

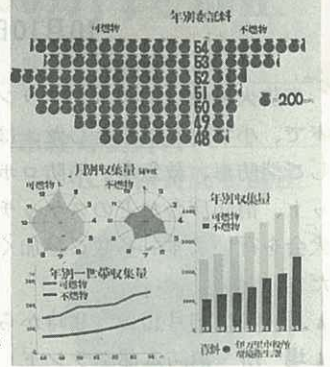
#### 【第2部】 小学校4～6年

- ◎特選 草野公子さん(大坪小5年)
- ・準特選 松尾多希子さん(〃 5年)
- (合作) 松尾幸始君(〃 3年)
- ・〃 多田知加さん(黒川小5年)
- ・〃 川原 稔君(東山代小6年)



▲第2部特選草野公子さん(大坪小5年)の作品

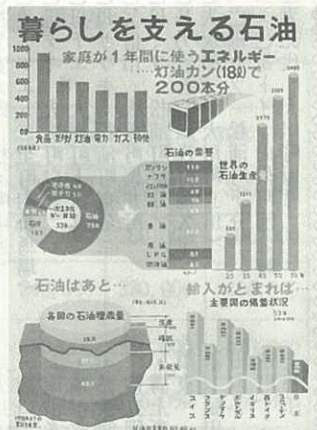
## 何故こんなに多いゴミ



▶第3部特選杉山・和嶋・塚君・黒川中3年)の作品

#### 【第3部】 中学校

- ◎特選 杉山達也君(黒川中3年)
- (合作) 和嶋勝彦君(〃 )
- 塚 英昭君(〃 )
- ・準特選 番場美里さん(伊万里中2年)
- ・〃 島田勝博君(黒川中3年)
- (合作) 岩下義郎君(〃 )
- 井手雅彦君(〃 )
- ・〃 草場克哉君(山代中3年)



▲第4部特選前田晴男君(伊商3年)の作品

#### 【第4部】 高等学校

- ◎特選 前田晴男君(伊商高3年)
- ・準特選 松本貴子さん(〃 )
- ・〃 岩本ちえみさん(〃 )
- ・〃 宝蔵寺泰子さん(〃 )

#### 【優良学校賞】

- ・東山代小学校
- ・黒川小学校
- ・黒川中学校